

【表 6】

No	エピソード	コード 1
513	第5回活動の記録	
514	2001/12/18 於：なぎさふれあいセンター	
564	ON...近くの人の面倒をみてもらえるのが一番だ。	
565	MY...だけど、他人が家に入るのは、本当に嫌だという人がいる。	他人が家に入ることの抵抗感への対策の必要性
566	HY...信頼関係ができるまでには、時間がかかるから。	信頼関係を構築することに要する時間
567	U...いったん信頼関係ができると、電球の替えまでヘルパーがやったりする。	ヘルパーなどへの過剰な期待・依存
568	MY...ヘルパーも、同じ人がずっとやるようになってしまう。ヘルパーも少し冷たいくらいがよい。	
569	HY...高齢化社会の中では、いかに割り切って、ヘルパーを使っていくかが、大切かもしれない。	
570	U...気になるのは、すべて地域でやっちゃうと、遠くの家族を呼ばなくなるかもしれない。それもまた問題。	親族との関係阻害への配慮
571	HY...でも、いざというときに、頼りになるのは、遠くの親戚より、近くの他人だと思う。	
572	KO...ふれあい援助員も、草むしりをしてほしいといわれて行っても、実は話し相手がほしかっただけということがあった。	依頼目的以外に潜在本来目的（話し相手など）
573	HY...話し相手がほしいと頼めばいいのにね。それが、恥ずかしいことではない、と言ってあげないと。	
574	U...でもお年寄りの気持ちは違うかもしれない。	
575	ON...自分の育った時代の感覚が染み付いているんだな。	援助を受けることへの抵抗感の世代間相違
576	U...私たちが年取ったら、違ってくる。	
577	ON...明治生まれと、大正生まれで大分違うしね。	
578	U...「民生委員に世話になるのは、絶対嫌だ」という人がいる。	
579	MY...頑固な人を、溶かしてあげるボランティアが必要だ。	頑固に拒否する人を“溶かす”ボランティアの必要性
580	HY...いろいろなボランティア活動が、ちょこちょこ沢山あればよい。	ボランティア概念の広がり・多様性への認識
581	KO...岡崎とか土屋とか、市の北の方は、独居老人が少ない。花水は、そこに比べるとかなり多い。	独居高齢者などの地域偏在
582	MY...そういう地域は、家族の負担にはなるけど、暖かいかもかもしれない。	伝統的多世代世帯の多い地域と独居高齢者の多い地域
583	ON...あの地域は、昔のスタイルだね。	
584	MY...花水では、だからこそ、こういう福祉コミュニティづくりが必要。	
585	HY...家族だけでなく、隣近所も、無関心という話しかもよく聞く。昔の常識は通用しない。	
586	KO...でも、独居老人も、敬老金などを渡しに行っても、うんともすんとも言わないことがある。	
587	MY...向うがやたというのはいかたがない。最後まで、一人で済むのなら、それはそれで良いのだからうけど。	高齢者側の拒否感への対処
588	HY...一切拒否して、餓死した人がいたわね。	
589	MY...好々爺という言い方があるけど、50歳くらいまでかもしれない。	
590	ON...若者の願望かもしれないね。まれにはいるけど。	
591	KO...かわいがられる老人にならないといけないうわ。	どう歳を取るか（自らの問題としての認識）＝受け入れられる歳の取り方
592	MY...現役を退いて、引きこもっちゃう人は、難しいかも。	引退＝引きこもりの弊害
593	KO...敬老会とかに出てくる人はいいんだけどね。	
594	HY...地区レクにしても、10年、同じ形でやってるけど、老人も進化しているのではないか。	高齢者も時代とともに変化するという認識
595	KO...参加者は増えてるけどね。ただ、お弁当もちょうど、帰っちゃう。	
596	HY...その弁当に、ちらしを挟み込むとかするといいかもかもしれない。	
597		
598	U...やっぱり、お年寄りが集まれる場所がほしいわね。	
599	ON...井戸端会議もなくなったしな。	井戸端会議などコミュニケーションの場の不足
600	HY...集まっているのは、医者の待合室ぐらいかな。	病院待合室の高齢者
601	KO...接骨院とか。	
602	MY...お医者さんの方も、さげなく病氣は自分のせいだと言ってくれたりするところはいい。	
603		
604	U...家族や近所がめんどろをみなくなったのは、我慢が足りなくなってきたという、風潮があるかもしれない。	忍耐力の低下
605	MY...犠牲をしなくなった。	
606	KO...仕方ないなあと思うところはあるけど、あたりまえのこととしてやってほしいところはある。	損得勘定
607	MY...親の面倒をみるのは、損という考え方をしてしまう。兄弟は同権なのに、なぜ私だけ損するのかという議論。そこで、公が、どの程度まで、肩代わ	親の面倒をみない子世代
608	HY...そういう現状の中で、地域でどれだけステップアップすることができるかが、私たちの課題である。	
609	MY...世話になりたくない、世話をしたくない、という考えをどう変えていくか。	"世話になりたくない、したくない"をどれだけ変えていくか
610	U...町内福祉村を、なんとか充実させたいね。	
611	MY...町内福祉村は、発想はいいからね。	
612	でも、世話をして、ひどいなあ、と思う人はいる。その本人に問題がやっぱりある。そういう人は、公でやってもらうしかない。	被援助者側に問題のあるケース
613	HY...活動するときは、対象者を限定した方がいいのかしら。	対象者限定が必要？
614	KO...民生委員の立場からは、昼間独居の老人が、隙間になっているので、そのあたりにかな。	日中独居の問題＝ニーズの潜在化
615	HY...花水で特色のある、そういう方に注目するのが良いかもしれない。	
616	MY...そうね。昼間独居の人は、介護保険を受けていない人が多いし。	
617	ON...むしろ、申請していない人が多いのかもしれない。	日中独居と介護保険の申請率
618	HY...富士白苑では、民生委員の仲介が必要と言っていた。マップには民生委員を書き込む必要がある。	民生委員の役割の重要性
619	KO...それは、是非必要。	
620	HY...あと、介護保険を知ってもらうような情報提供。	制度に関する情報提供の重要性
621	MY...申請していない人が多いからね。	制度未利用者への関心
622	HY...老人同士の話しで、申請してもしょうがないと話しているようだ。	高齢者の制度への否定的認識
623	ON...日本での介護保険導入前に、ドイツでの認定率が低いということがさんざん報道されたので、その先入観があるのかもしれない。	高齢者の誤解・先入観